

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	旅行実務技能論Ⅰ						授業形態	講義	
科目コード	534066	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active・L	
担当教員名	福島 明子							ICT活用	
授業概要	本科目では、国家資格・国内旅行業務取扱管理者の試験科目のうち「旅行業法及びこれに基づく命令」「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」について学びます。「旅行業法及びこれに基づく命令」は旅行業務に関する法律です。「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」は旅行者と旅行者が交わす契約で、標準旅行業約款、運送約款・宿泊約款等（バス、フェリー、JR、宿泊、ANA）が含まれます。 本科目の目的は、国家資格取得に向け、学びの総仕上げを行い、自信をもって国家試験に臨む知識を身につけることです。本科目は1年次の「旅行業法・旅行業約款」、2年次の「旅行業特別演習Ⅰ」とリンクしており、ステップ・バイ・ステップで国家資格レベルの知識を身につけていく最終ステップです。1年次の「旅行業法・旅行業約款」の理解をもとに、2年次の「旅行業特別演習Ⅰ」で5年分（旅行業法、旅行業約款）、10年分（運送・宿泊約款）の過去問に集中的に取り組み、インプットとアウトプットをくり返ししながら、国家試験の合格ラインに達する知識を身につけました。本科目では、①模擬試験で試験に慣れるとともに、②過去問の復習と最頻出・最重要項目の解説を行い、さらなる加点を目指します。 本科目で学ぶ知識は、国家資格取得に必須であるのももちろんのこと、ホテル観光業界で働く際も役立ちます。さらに旅行者の立場としても、知らないと損をする、あるいは知っているのと得をする知識が詰まっています。旅行業法や旅行業約款、運送・宿泊約款は一般の人にとっても実は不可欠なものであることを実感しながら、国家資格取得へのモチベーションを高めていきましょう。								
関連する科目	旅行業法・旅行業約款、旅行業特別演習Ⅰ								
授業の方法と進め方	授業では、①4回の模擬試験をとおして試験に慣れ、②これまで解いた過去問すべてに目をおし最頻出・最重要項目の復習を行います。 ①模擬試験では、2科目を60分で解く練習を積みます。50問を60分で解くには時間配分に気をつけながら試験に慣れることが肝要で、授業内で4回模擬試験を実施します。②過去問の見直しと最頻出・最重要項目の復習では、解答のポイント、間違いやすいポイント、必ず覚えるべきポイントについて解説を行います。またケアレスミスをしないうための注意、わからない問題であっても正答へと導く方法について解説します。学生同士、声を出してレクチャーし合うワークも取り入れ、インプットとアウトプットをくり返し、国家資格レベルの知識を確実に身につけていきます。 本科目は「旅行業法・旅行業約款」「旅行業特別演習Ⅰ」の授業とリンクしており、本科目は3ステップの仕上げです。※過去問は4点×25題＝100点満点、60点以上合格。 STEP1：旅行業法・旅行業約款：条文を理解し過去問に触れ試験の傾向をつかむ。到達目標：過去問52点 STEP2：旅行業特別演習Ⅰ：5年分または10年分の過去問を解き習熟度を深める。到達目標：過去問68点 STEP3：旅行実務技能論：最頻出・最重要ポイントを確実におさえ、さらなる加点を目指す。到達目標：過去問80点								
第1回	第1回模擬試験 「旅行業法及びこれに基づく命令」「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」2科目の模擬問題を1時間で通して解きます。残りの時間で答え合わせを行い、現時点の実力を確認します。間違った問題を集中的に学びます。								
第2回	運送・宿泊約款：一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款、フェリー標準運送約款、JR旅客営業規則運送、モデル宿泊約款、国内旅客運送約款（ANA） 最頻出・最重要項目について解答のポイント、間違いやすいポイント、ケアレスミスを防ぐポイント、正答へと導く方法を解説し、学生同士レクチャーをし合うワークを行います。以下、同様								
第3回	旅行業法：①目的、②登録が必要な事業、③新規登録・更新、④登録業務範囲、⑤変更登録、⑥登録の拒否事由、⑦営業保証金、⑧旅行業務取扱管理者の選任、⑨旅行業務取扱管理者の職務、⑩旅行業務の取扱いの料金、⑪旅行業約款、⑫取引条件の説明・書面、⑬契約書面								
第4回	第2回模擬試験 「旅行業法及びこれに基づく命令」「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」2科目の模擬問題を1時間で通して解きます。残りの時間で答え合わせを行い、どれぐらい点数が伸びたか確認します。間違った問題を集中的に学びます。								
第5回	旅行業法：⑭旅行業務取扱管理者・外務員の証明書、⑮広告、⑯標識、⑰企画旅行の円滑な実施、⑱旅程管理業務、⑲禁止行為、⑳受託契約、㉑旅行者代理業者、㉒業務改善命令、㉓登録の取消し、㉔旅行サービス手配業、㉕旅行業協会、㉖弁済業務保証金制度、㉗雑則及び罰則								
第6回	募集型企画旅行契約の部：①適用範囲、用語の定義、旅行契約の内容、手配代行者、②旅行契約の内容、手配代行者、契約の申込み、電話等による予約、③電話等による予約、契約締結の拒否、契約の成立時期、④電話等による予約、情報通信の技術を利用する方法、旅行代金、⑤契約の成立時期、契約書面の交付、確定書面、⑥契約内容の変更、旅行代金の額の変更、旅行者の交代、⑦旅行者の解除権、⑧旅行者の解除権等－旅行開始前、⑨旅行者の解除権等－旅行開始後								
第7回	第3回模擬試験 「旅行業法及びこれに基づく命令」「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」2科目の模擬問題を1時間で通して解きます。残りの時間で答え合わせを行い、どれぐらい点数が伸びたか確認します。間違った問題を集中的に学びます。								

第8回	募集型企画旅行契約の部：⑩旅行代金の払戻し、契約解除後の帰路手配、⑪団体・グループ契約、契約責任者、⑫旅程管理、旅行業者の指示、添乗員等の業務、保護措置、⑬旅行業者の責任、旅行者の責任、⑭旅程管理、変更補償金、⑮特別補償
第9回	受注型企画旅行契約の部：⑯受注型企画旅行、手配旅行契約の部：⑰手配旅行、旅行相談契約の部：⑱旅行相談
第10回	第4回模擬試験 「旅行業法及びこれに基づく命令」「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」2科目の模擬問題を1時間で通して解きます。残りの時間で答え合わせを行い、どれぐらい点数が伸びたか確認します。間違った問題を集中的に学びます。
授業の達成目標	①旅行業法について理解を深め、知識を定着させます。 ②標準旅行業約款について理解を深め、知識を定着させます。 ③運送・宿泊約款について理解を深め、知識を定着させます。 ④2科目を1時間で解く練習を積み、合格ラインを着実に超える実力を身につけます。 ⑤上記をとおり国内旅行業務取扱管理者の国家試験受験に自信をもって臨みます。
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。
授業時間外学習【予習】	「旅行業法・旅行業約款」「旅行業務特別演習Ⅰ」の授業で解いた過去問を見直したうえで授業に臨んでください。
授業時間外学【復習】	各回の授業で解説した最頻出・最重要項目の解説、および模擬試験で間違った問題の復習を行ってください。
課題に対するフィードバック	4回の模擬試験の答え合わせを行い、重要項目および間違いやすい問題の解説を行います。
評価方法・基準	①授業への取り組み50% ②授業内で行う4回の模擬試験のうち、第4回の模擬試験の結果50% ③上記①②にかかわらず国家試験合格者は「秀」評価
テキスト	①JTB総合研究所発行 2025年度模擬試験問題 ②2年次の「旅行業特別演習Ⅰ」で用いた過去問冊子 ③1年次の「旅行業法・旅行業約款」で用いたプリント、旅行業法・旅行業約款の原文、過去問
参考書	「国内運賃」の授業で使用するナツメ社『一発合格！国内旅行業務取扱管理者試験テキスト＆問題集』
備考	暑い時期の長丁場の集中講義のため、体調管理をしっかり行って臨んでください。緊張やストレスがたまる時期ですので、必要に応じリラクセス法についてもアドバイスします。